

平成 16 年 6 月 4 日

「みらい」の公募に関する考え方及び課題の選定について

「みらい」運用検討委員会事務局

(1) 公募に関する基本的考え方

独立行政法人海洋研究開発機構(以下「JAMSTEC」という)は、海洋の基盤的研究開発の一環として、「みらい」の共同利用型運航を行っている。

「みらい」は、優れた耐氷性、航行性を有し、広域かつ長期にわたる観測研究が可能な特徴を生かして、海洋地球研究の最先端国際洋上基地、多様な海洋地球データ発信基地としての役割が期待されている。

「みらい」によって得られたデータやサンプルは、国民の貴重な財産であり、成果をできるだけ速やかに公表し、国民に還元することが肝要である。

「みらい」の利用にあたっては、主要研究課題を掲げる長期及び中期観測研究計画を策定し、これに基づいて次年度の研究計画に対する研究課題を公募する。

公募研究課題については、以下の優先課題を基準として、創造的で優れた研究課題等について、「みらい」運用検討委員会において幅広く検討して採択するものとする。

(2) 優先課題

- ①JAMSTEC が策定した「みらい」長期及び中期観測研究計画の推進に貢献する課題。
- ②JAMSTEC との共同研究課題。
- ③その他本委員会がその科学的重要性により必要と認めた課題。